

2023年5月12日 地鎮祭が執り行われました。

～伊達の地から県北・県央へ 伊達市民から愛される組織をめざして～



生活協同組合パルシステム福島の 3 つ目となる配送センター(名称:パルシステム福島伊達センター)の地鎮祭が、2023年5月12日(金)、福島県伊達市保原工業団地(伊達市保原町桑田1番8)で執り行われました。

地鎮祭では、建物を建てる土地の四隅に青竹を立て、しめ縄で囲んで祭場をつくり、施主であるパルシステム福島代表理事 高野祐子や工事関係者が参列し、開催されました。

✦ パルシステム福島伊達センターの工期は2023年12月までを予定し、2024年3月より当センターからの配送をスタートします。建物は1階鉄骨造平屋建て、建築面積は1,537.95㎡(465.22坪)です。

✦ 伊達市保原工業団地は、東北中央自動車道伊達中央ICから約1km(車で10分)の場所にあり、東北中央自動車道との連絡によりアクセスも良い場所です。

✦ パルシステム福島伊達センターの開設により、今まで未配送エリアであった桑折町や国見町、相馬市、新地町のエリアを新たに展開いたします。また、地元農産物を取り扱い、食と農の取り組みをすすめていきます。

✦ センター内には事務室の他に組合員が活動できる組合員活動スペースを設置、パルシステムの食材を使った調理やメーカー・生産者との交流などをおこないます。



<パルシステム福島伊達センター完成イメージ>

◆ パル(pal)は英語で仲間、人と人との助け合いを大切に、組合員の多様な生活を商品・サービス・情報をとおしてサポートしていきます。

◆パルシステム福島伊達センターの環境設備について

①10kwソーラーシステム(基本は自家消費)やEV用駐車スペースを設置②空調設備はヒートポンプ方式③1F 会議室・事務所は断熱効果が高いペアガラス④照明器具は全てLED照明⑤冷設備はインバーター採用⑥省エネ推進の為 1F 事務所へ防災集中監視盤を設置し、同じく事務室にセンター内全ての照明を操作できるスイッチを設置。また、小区画の居室(トイレ等)は人感センサーで制御⑦冷蔵庫・冷凍庫・凍結庫の冷媒は R463A を採用(近年地球温暖化による環境変化の影響が危惧され、温暖化の原因とされている温室効果ガスの抑制が促進されていることから既存の冷媒より環境への影響が少ないため)、またエアカーテン・フローアヒーター・扉ヒーターを備え付け、適正な温度帯での管理をおこないます。